

協和界面科学株式会社

「熟練した従業員を確保するため働きやすい職場に」



事業所外観
社員の家族参観の様子

企業概要

事業開始：昭和22年（1947年）
所在地：新座市
事業内容：理科学機器の製造、販売、開発
従業員数：68人
（男性34人、女性34人）
<http://www.face-kyowa.co.jp/>

第1回埼玉県あったか子育て企業賞 奨励賞受賞

取組のきっかけ

- 社長自らが「働くことも子育ての一環」と言って子どもの行事を考慮するなど、社員の側に立った経営がなされている。
- ここ3年くらいで採用を増やし、従業員が約1.5倍になっており、経験者を中途採用するため、働きやすい職場づくりに力を入れている。

取組状況

- ① 育児短時間勤務
子どもが3歳になるまで勤務時間を1日あたり最大2時間短縮できる。特に、育児休業から職場復帰後に取得するよう奨励している。
- ② 勤務時間の繰上げ繰下げ
小学校就学始期に達する子を養育する場合、1日の労働時間を変えずに勤務時間の繰上げ繰下げが可能。
- ③ 育児休業を取得しやすい環境づくり
育児休業者が安心して職場復帰できるように職場復帰プログラムを実施している。定期的に社内の情報を提供したり、職場復帰前には業務システムの説明などを行う。
- ④ 再雇用
パートの方も含めて、専門的な知識と技術が必要であるため、出産や子育てのために一度退職されても経験者として再雇用している。
- ⑤ 週2回のノー残業デー
水曜日と金曜日をノー残業デーとしている。その他の曜日も残業は21時までとしている。
- ⑥ 記念日休暇
結婚記念日や奥様との出会いの日など、自分の記念とする日を予め設定し、毎年その日を休暇としている。
- ⑥ 職場参観日
数年に1度、お子様がいる家族を対象に、子どもの夏休みに実施している。

社員の声

育児休業中は、育児に専念していたため社会との隔たりを感じることもありましたが、職場復帰プログラムを実施し、復帰することに安心感もて、自分を必要としてくれていることも感じられました。また子供が1歳になった復帰時に、保育所が見つからなかったため3か月間の延長をしてもらいました。自分も会社も納得のいく形で復帰できたので、会社に対する信頼も深まりました。

効果と課題

効果

- ・平成18年度～20年度、出産した女性全員が育児休業を取得
- ・育児休業から職場復帰者全員が育児短時間勤務を利用

課題

- ・子育て中の男性社員の残業時間削減、働き方改善

一般事業主行動計画の策定 ▶ 有
子育て応援宣言企業の登録 ▶ 有

ワークライフバランス推進員の登録 ▶ 有

〈登録内容〉

- ① 子どもの学校行事に参加するための年休取得を奨励します。
- ② 子どもの社会科見学を積極的に受け入れます。
- ③ 子育て中の従業員が働きやすいよう、時差勤務制度を作成します。